

令和元年 11 月 6 日  
(2019 年)

第三学年保護者の皆様へ

吹田市立第三中学校  
校長 上西 創 司

## 令和元年度 全国学力学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和元年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学と英語に限られます。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査結果の分析

#### □ 国 語

《結果の概要》

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4つの領域で、全国値を下回った。特に、「書くこと」の領域では、条件に合わせて自分の考えを記述する力に課題がみられる。「読むこと」の領域では、新聞記事を読み取る問題が出され、見出しに捉われ、文章の本質を読むことができていないようにみえる。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、封筒の宛名を書く問題が出題されたが、他者に手紙を書き、投函するという経験が少なくなっているため、無回答率が高かった。
- ・「短答式」「記述式」の問題形式では、無回答率が高い。

《課題と今後の取組》

○内容をふまえて自分の言葉で文章を書くことを苦手としている生徒が多い。授業で作文練習・テストを継続して行い、「書く力」を伸ばす工夫をしていきたい。

#### □ 数 学

《結果の概要》

- ・調査問題の内容としては、学習指導要領における「数と式」が5問、「図形」が4問、「関数」が3問、「資料の活用」が4問と各領域についてバランスよく出題されていた。
- ・「関数」の領域では、全国値を上回った。「数と式」と「資料の活用」の領域では、全国

平均をやや上回った。また、「図形」の領域では、全国値を下回った。

- ・「数と式」の領域では、ほとんどの問題で全国値を上回っていたが、連続する4つの奇数の和と式の意味を問う問題では、全国値をやや下回った。
- ・「関数」の領域では、すべての問題で全国値を上回った。
- ・「資料の活用」の領域では、ほとんどの問題で全国値を上回っていたが、資料を整理した表から最頻値を求める問題では、全国値を下回った。
- ・「図形」の領域では、三角形の合同条件を書く問題は全国平均を上回っているものの、それ以外の問題では全国値を下回った。

《課題と今後の取組》

○「図形」の領域では、図形の性質を考察する場面において、筋道を立てて考えることや統合的・発展的に考察し、新たに見出した事柄を説明することに課題がみられる。

○5年前より引き続き行っている「授業開始テスト (JKT)」の成果として、計算力を問われる問題で、全国値をやや上回ることができている。今後も JKT を実施し、計算の反復練習をすることで、基本的な計算力を高め、数学に関する関心意欲を引き出していきたい。

○説明を求められる問題の無回答率が高いことから、普段の授業や定期テストに取り入れていく。

#### □ 英 語

《結果の概要》

- ・学習指導要領の領域別では、「聞くこと」、「読むこと」が全国値を下回り、「書くこと」が全国値をやや下回った。
- ・評価の観点では、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」が全国値を下回り、「言語や文化についての知識・理解」は全国値をやや下回った。
- ・「聞くこと」に関する問いの中で、日常的な話題について、情報を正しく聞き取ることは全国値をやや下回る結果であった。また、まとまりのある情報の英語を聞き、話の概要や必要な情報を取り出す問題に関しては全国値を下回った。
- ・「読むこと」に関する問いでは、日常的な話題について、簡単な文で書かれてたものの内容を読み取ることには全国値をやや下回った。また、まとまりのある文章を読んで、話の概要や必要な情報を取り出す問題に関しては全国値を下回った。
- ・「書くこと」における自分の意見などを書く記述式の問いでは、無回答率が全国値を上回った。

《課題と今後の取組》

○まとまりのある英語の情報を処理することに課題がみられる。また、その情報を受けて、自分の意見を英語で表現することを苦手とする生徒が多い。このことから、普段から自分の意見を表現する場面を提供していくことが必要である。

## □ 英語(話すこと)

- ・「話すこと」調査については、参考値としてではあるが、文章で解答する問題は全国値を下回った。
- ・交通手段に関する基本的な表現は全国平均を上回った。
- ・二人の登場人物の会話の内容や、月日や時間の問題となると正答率が全国値を下回った。

### 《課題と今後の取組》

- ・話の流れをくみ取ることに課題があった。また、無解答の問題も多く見受けられた。
- ・授業の中で、日常会話の定着を図り、個人が積極的に発言する機会を多く設ける。

## 「生徒質問紙」に関する調査の結果

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査である。質問は全部で38問であったが、ここでは特徴的な結果が出た質問に関してのみ取り上げている。

### 基本的な生活習慣

- ・「朝食を摂っているか」という質問においては、全国値を下回った。
- ・「就寝時刻、起床時刻がいつも同じであるか」という質問においては、就寝時刻、起床時刻共に下回った。
- ・「家の人と学校の出来事について話をしていますか」という質問においては、「している」、「どちらかといえば、している」と答えた生徒の割合は全国値を下回った。

### 家庭学習等

- ・「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問においては、全国をやや上回っているが、全くしていないと回答している生徒の割合は全国値を上回った。計画を立てて実践できている生徒とそうでない生徒の二極化がみられる。
- ・「学校以外での勉強を3時間以上行っているか」という質問においては、全国値を上回った。
- ・「二時間以上、読書をしますか」という質問においては、全国値をやや下回った。
- ・「学校図書館・地域の図書館の利用しますか」という質問においては、頻繁に図書館に通っている生徒の割合は全国値をやや上回った。
- ・「読書は好きですか」という質問においては、全国値とほぼ同じであった。
- ・「新聞を読んでいますか」という質問に関しては、読んでいる生徒の割合は全国を下回った。

### 学校生活・学校での学習状況

- ・学校の部活動に参加していないという割合が、全国値を上回った。
- ・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という質問においては、「できている」「どちらかといえばできている」と答えた割合は、全国値とほぼ同じであった。
- ・「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか」という質問においては、「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と答えた割合が、全国値を下回った。
- ・自分の考えを発表する機会では、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答える割合が、全国値をやや上回っていた。

### 家庭や地域とのコミュニケーション

- ・地域行事への参加の有無に関しての質問においては、全国値を下回った。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか。」「外国の人とのコミュニケーションや外国への関心がありますか。」「日本や住んでいる地域のことを外国の人にもっと知ってもらいたいかな。」という質問に対する肯定的な意見の値が全国値を下回った。

### 自尊心・規範意識

- ・「自分には、よいところがありますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という質問においては、「あてはまらない」と回答した生徒の割合は、全国値を上回り、全体的に否定的な回答の割合が高かった。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。」という質問に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた割合は、全国値とほぼ同じであった。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問においては、「あてはまる」と答えた割合は全国値を上回ったが、「あてはまらない」と答えた割合も全国値を上回っており、二極化した結果となった。
- ・「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことはありますか。」「人が困っているときは、進んで助けていますか。」という質問においては、「あてはまらない」と回答した割合が、全国値を上回った。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という質問においては、「あてはまる」と答えた割合が、全国値を下回った。
- ・「人の役に立つ人間になりたいですか」という質問においては、無回答率が高かった。

## 3. 今後の取組みについて

今回の調査によって判明した課題点は、本校の教育活動全体の工夫・改善に大いに参考となる資料ととらえ活用いたします。そして、「すべての生徒に基礎・基本の定着と、仲間と共に学ぶ喜びを実感させよう」という本校の重点目標の推進に生かすよう取り組みを進めてまいります。

ご家庭におかれましても、学習活動の基盤となる基本的な生活習慣(早寝・早起き、規則正しい食生活、家庭学習の定着など)の確立やお子さまの成長にとって不可欠なさまざまな生活体験を通して、「生きる力」を育んでいただきますようお願いいたします。今後も家庭と学校と密接に連携を図りながら、教育活動を進めていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力よろしくようお願いいたします。